2006年3月31日

各　　位

会　社　名　**富山化学工業株式会社**
代　表　者　代表執行役社長　中野　克彦
コード番号　４５１８
（URL　　http://www.toyama-chemical.co.jp/）
東証第一部
決　算　期　3月
問合わせ先　経営企画部長　　水野　淳一
Tel：（０３）５３８１－３８１８

会　社　名　**アステラス製薬株式会社**
代　表　者　代表取締役社長　竹中　登一
コード番号　４５０３
（URL　　http://www.astellas.com/jp）
東証・大証・名証（各第一部）、札幌
決　算　期　3月
問合わせ先　広報部長　　田中　昭弘
Tel：（０３）３２４４－３２０１

ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤「T-3811」
日本国内での販売および共同開発等に関するライセンス基本契約締結のお知らせ

富山化学工業株式会社（本社：東京都新宿区、社長：中野克彦、以下「富山化学」）とアステラス製薬株式会社（本社：東京都中央区、社長：竹中登一、以下「アステラス製薬」）は、富山化学が創製したニュータイプのキノロン系合成抗菌剤「T-3811」（一般名：ガレノキサシン）の経口剤について、国内における販売および共同開発等に関する本年1月の基本合意に基づき、本日、ライセンス基本契約を締結いたしましたのでお知らせします。

＜契約の概要＞

① **製品は富山化学が製造し、大正富山医薬品株式会社（本社：東京都豊島区、社長：上原明、以下「大正富山医薬品」）を通じてアステラス製薬に供給する。**
② **大正富山医薬品とアステラス製薬は、同剤を同一ブランドで共同販促（コ・プロモーション）する。なお、物流・販売はアステラス製薬が行う。**
③ **アステラス製薬は富山化学に対して、ライセンス基本契約締結時の一時金に加えて、申請時・承認時・販売等のマイルストーンに応じて一時金を支払う。**
④ **アステラス製薬は、今後、日本におけるT-3811の経口剤の適応拡大について開発に**

参画する。

＜T-3811 のプロフィール＞

- 従来のキノロン剤とは異なり、キノロン骨格の 6 位にフッ素原子を持たないニュータイプのキノロン系合成抗菌剤である。
- 幅広い抗菌スペクトルを有し、近年耐性菌として問題となっている PRSP（ペニシリン耐性肺炎球菌）や MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)等に対しても有効である。
- 経口吸収性、組織移行性に優れており、1 日 1 回の投与が可能である。

＜T-3811 の開発状況＞

- 国内については、富山化学と大正製薬株式会社（本社：東京都豊島区、社長：上原明、以下「大正製薬」）が呼吸器感染症および耳鼻科感染症を目標適応症として共同開発を行い、現在申請準備中である。
- 海外については、富山化学が米国シェリング・プラウ　コーポレーションに、日本、韓国、中国を除く全世界における開発、使用、販売についての権利を供与しており、本年 2 月には米国食品医薬品局（ＦＤＡ）より新薬承認申請を受理されている。また、欧州においても今年中に欧州医薬品審査庁（ＥＭＥＡ）に新薬承認申請を行う予定である。

すでに富山化学と大正製薬は、「T-3811」を大正富山医薬品で販売することに合意していますが、今回の富山化学とアステラス製薬とのライセンス基本契約締結に伴い、今後は富山化学、アステラス製薬、大正製薬、大正富山医薬品の関係各社が協力して、本剤の国内での製品価値の最大化を図ってまいります。

以　上

本件に関する問い合わせ先

富山化学工業株式会社　経営企画部広報グループ　TEL 03-5381-3818
アステラス製薬株式会社　経営管理本部広報部　TEL 03-3244-3201

本件は「兜倶楽部」「重工業研究会」「本町記者会」「富山経済記者倶楽部」へ資料配布しています。